

③平成23年度旅行会案内

<事務局からのお知らせ1>

**震災対応に特化した総会は大成功でした
震災情報を提供して下さった皆様
募金して下さった皆様
オークションに品物を出して下さった皆様
オークションで品物を買って下さった皆様
当日会場で様々なお役をして下さった皆様
多方面のご協力、本当にありがとうございます！**

4月10日（日）、名古屋国際ホテル国際ホールで平成23年度総会を開催しました。未曾有の大災害の直後のことで、開催するか否か最後まで迷い、震災情報交換会とチャリティーオークションに特化したこれまでとは全く違う総会を行いました。参加者総数93名。河村たかし名古屋市長が激励に駆けつけて下さり、頑張りよう！の熱気あふれる総会になりました。

当日募金箱に集まった義援金が195,500円、チャリティーオークションの売り上げが360,900円、総会以外で振込等でいただいた義援金1,745,192円、総額2,301,592円。皆様のお気持ち本当にうれしいです。ご協力に心から感謝！ 本当にありがとうございました。

チャリティーオークションには253点もの品物が集まり、全てを売り尽くすには時間が足りなくなりました。残った品物は事務局に保管し、忘年会でバザーを行う予定です。震災からの復興は一朝一夕でなるものではありません。募金をはじめとしたチャリティーイベントをロングランで継続していきますので、息の長いご協力をお願いします。無理は続きません。無理のない時に無理のない範囲でお願いします。

<事務局からのお知らせ2>

達増拓也岩手県知事に義援金180万円を届けました

6月10日（金）、岩手県庁に東海岩手県人会を代表して石井弘子会長と村井真知子幹事が達増岩手県知事を訪ね、義援金180万円を手渡してきました。義援金総額230万円を2つに分け、180万円を岩手県民全体への義援金とし、残りの50万円は、<事務局からのお知らせ4>に書きましたとおり、目的を特定しての義援金として使います。達増知事がとんでもないほどお忙しいのは重々わかっているけれど、何が何でも、たとえ1分でも、とにかく直接お会いして東海岩手県人会

の会員の気持ちを伝えたいのです、と岩手県名古屋事務所の岩淵所長、藤澤次長に
さんざん我が儘を言い、11時25分から40分まで、15分間の会見時間をとっ
て戴き、東海岩手県人会一同のありったけの気持ちを知事にお伝えしてきました。

<事務局からのお知らせ3>

今年は全国県人会祭りにブースを出店します 東海地区にいる被災者を捜す、それだけが目標です ブース内で来場者に対応するボランティア募集！

今年も9月10日（土）・11日（日）の両日、久屋大通公園でふるさと全国県
人会まつりが開催されます。今回11回目を迎えるお祭りですが、これまで当会は
ブース出店はせず、入会案内書配布と舞台挨拶の形での参加に留めてきました。そ
の理由は、①ブース出店には参加費だけでも五万円が必要で、「費用を掛けない効
率の良い新入会員獲得」を目標にする当会のスタンスにはなじまないお祭りである
こと、②開催時期が9月上旬と非常に暑く、ブースに詰める会員の健康が心配であ
ること でした。

東日本大震災後、岩手から東海地区に避難して来ている被災者を捜し出して、ケア
を必要な方がいれば私たちに出来る心身のケアのお手伝いをしたい、と被災者をク
チコミで懸命に捜しているのですが、個人情報の問題などもあってなかなか見つか
りません。巡り会えないままに被災者が人知れず孤独を深め心を病むような、神戸
の震災の二の前を踏むことはできません。東海地方と何の接点もない移住者を捜す
にはクチコミだけでは足りないのかもしれませんが。そこで役員会は、「名古屋の繁
華街でのお祭り」を利用して被災者を捜そう、と考え、今回はテストケースとして
ブース出店を決定しました。ですから今回、東海岩手県人会のブースでは、特産品
販売はしません、ステージを使って芸能の発表もしません、観光パンフレットを配
って観光案内もしません。とにかく、岩手から来ている震災被害者を捜す、そのこ
とだけに特化したきわめてシンプルなブースを作ります。集中的に2日間頑張っ
てみて、効果がなければ来年以降の出店はいたしません。

ブースに詰めて、岩手からの被災者を捜して下さるボランティアを募集します。お
祭りは2日とも午前10時から午後6時まで、1日8時間、2日でのべ16時間
です。最低でも常時ブースには2名が必要です。ということのはのべ32時間分の担当
者が必要ということになります。そのうえブースの中は非常に暑いです。ただぼん
やりと中にいればいいということではなく、来場者の様子を十分に観察し、話しか
けたような方がいれば敏感に察知して引き止め、ポイントを掴んでしっかりお話し
を聞かねばなりません。酷暑の中で高度な集中を保てるのはせいぜい1時間くらい
なものでしょう。ということは、各々1時間ずつでのべ32人のブース担当者が必

要です。もちろん私たち役員も頑張ります。岩手県名古屋事務所からも岩渕所長はじめ3名が加わって下さいます。でもまだ足りません。責任を持って暑いブースの中で1時間集中して下さるボランティアを募集します。志願者は事務局まで。あなたのガッツと優しさに期待します。

<事務局からのお知らせ4>

**8月3日（水）～5日（金）
名古屋市が陸前高田の中学生約40名を名古屋に招待します
当会は義援金50万円をこのために支出し、
空港での歓送迎・市内観光等のボランティアを行います
こちらのボランティアも募集！**

陸前高田の中学生を夏休みに名古屋に招待する計画が名古屋市から持ち込まれていましたが、たった今、正式決定したとの連絡がありました。会員から「義援金は目的の特定した事業のために使ってほしい」との希望が多数寄せられていますので、当会はこれまでに集まった義援金総額230万円のうち50万円をこのために使います。6月22日に実行委員会がスタートしますが、当会会長が副委員長ですので、皆様から集めた大切な義援金の行方はしっかりフォローできます。

あわせてボランティアも募集。内容は3種類。体力や時間の都合にあわせて参加方法を選べますので、体力にあまり自信のない方も充分参加可能です。① 8月3日（水）12時45分～13時30分、セントレア（中部国際空港）での出迎えイベント ②8月5日（金）10時～12時45分、名古屋市中区栄周辺での小グループに分かれての買い物・昼食等自由行動のサポート ③8月5日（金）13時45分～14時55分、セントレアでの見送りイベント。ボランティアをしてみよう、という方はまずは石井まで。わからないことはなんでもお問い合わせを。今後の詳細についてはボランティア希望者に直接連絡します。

<事務局からのお知らせ5>

**愛知県社会福祉協議会から
被災者支援活動資金50万円をいただきました
岩手県の被災者支援のために活用致します**

6月9日（木）、愛知県社会福祉会館で、福島・宮城・岩手の3県人会に対する被災者支援活動資金の贈呈式が行われ、石井会長が出席しました。当会への助成金

50万円は、全国県人会まっりの出展費用、被災者を招いての懇親会、東海地区にいらっしゃる被災者の生活支援等に活用します。

＜事務局からのお知らせ6＞

震災被災者支援ボランティアセンターなごやについて

名古屋市在住の被災者の生活支援を目的に、名古屋市社会福祉協議会が運営しているセンターです。事務局に以下のお話がありました。①被災者を支援して下さるボランティアを募集しています。②名古屋市在住の被災者を支援している方をサポートします。③岩手県から名古屋市に移住した被災者を捜していますので、各種情報提供をお願いします。

被災者捜索という同じ目的を持っていますので、今後協力し合っていきましょうということになりました。

連絡先：〒462-8558 名古屋市北区清水4-17-1 総合社会福祉会館5階
電話 070-5029-9270 070-5012-5113
担当： 中村様